



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 村松 澄夫
(コード番号：2467 名証セントレックス)
問合せ先：取締役管理本部長 池田 眞
電話番号：03-5649-2500 (代表)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の連結業績予想値と本日公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 513	百万円 △49	百万円 △49	百万円 △55	円 銭 △1,276.74
実績値 (B)	443	△44	△38	△39	△918.40
増減額 (B - A)	△70	5	11	16	—
増減率 (%)	△13.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	520	△71	△57	△65	△1,881.03

2. 差異が生じた理由

東日本大震災以降の厳しい社会環境のもと、当社グループは、潜在顧客の掘り起こし、既存顧客のさらなる囲い込みなど営業の強化に努めてまいりましたが、期初の想定を越える落ち込みとなりました。一時回復の兆しが見えた既存顧客からの受注についても、夏以降のさらなる景気低迷の余波から本来の回復には至りませんでした。しかしながら新規受注の回復には少し時間が掛かりそうですが、既存顧客からの受注は確実に回復傾向にあります。

このような環境の中で、外注費や固定費の見直しによる一定以上の利益の確保に取り組んでまいりました。

これらの活動の結果、売上高は予想数値を下回りましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は予想数値を上回る結果となりました。

また前期第 2 四半期実績と比しまして、売上高は下回りましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は上回る結果となりました。

なお、平成 24 年 3 月期連結通期業績予想については、既存事業のさらなる強化とともに、期初の計画には無かった新規事業として電子情報保護のための VLCBCP システム（遠隔地バックアップサービス）などの下期からの展開を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日公表の予想数値に変更はありません。

以 上